

立ち寄り

九里 浩之

当市新潟の地方銀行である第四銀行本店脇のホール銀四階に「だいし金融資料室」がある。そこでは、現存する日本の銀行の中で最も古い歴史を有する第四銀行の「歩」を中心に県内金融の変遷や

明治から現在に至るまでの世相の移り変わりをパネルで展示している。開業免許や国立銀行紙幣を始めとする資料や貯蔵品も展示している。

開館は平日のみで、九時三十分から十六時三十分まで。(銀行休業日は閉館)入館は無料で、どなたでも観覧できる。時代の変化と金融の移り変わりを見ながら、楽しく歴史に思いをはせるひとときを満喫できる。小学生対象の夏休みの「銀行見学会」の行事も大好評だ。

だいし金融資料室

開業砂丘の麓に敷地が約五千坪のお寺があります。越前浜から斎藤家の分家が天保十二年(一八四〇)ころ、この地に來て無住の荒れ寺を転讓して齋藤家の菩提寺にしたと言われています。

一村一ヶ寺の風習により村民に布教し最初に檀家になつた石川(屋号・きげんどん)さんは色部長門の遺体を預かっていると米沢藩へ使いにだされた人とのこと。ご子息はとも品があり少し寂しそつたこと、後日親族が礼を尽くし遺体を引受にこられたことなどを話しています。

真宗大谷派 念仏寺



福山 忠利

寺町あるき



第四国立銀行家屋旧図



念仏寺

新潟シティガイド

新潟のまち歩きの魅力とは？

新潟市市民活動支援センター 運営協議会 会長

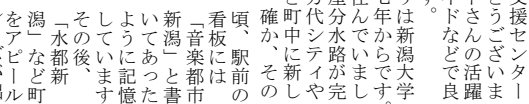


森本 利

日頃より市民活動支援センターをご利用頂きありがとうございます。新潟シティガイドなどの活躍は普段より古町のガイドなどで良くお見受けしています。

私と新潟市の関わりは新潟大学に入学した昭和四十七年からです。(それまでは東京に住んでいました。)その年に、関屋分水路が完成し、学生時代には万代シティや西堀ローサなど次々と町中に新しい施設が出来ました。確か、その頃、駅前は「音楽都市新潟」と書いてあったように記憶しています。その後、「水都新潟」など町をアピールする様々なキャッチフレーズが出る

やすらぎ堤



来ましたが、今ひとつ具体性に欠ける様な気がします。それはルカから見た街の風景は普段、私的な物が多いからかも知れませんが、水と土の芸術祭に象徴されるように新潟は自然が育んだ歴史風土に特徴が有るのではないのでしょうか。

明治維新直前には開港五港のひとつになり、一八八〇年頃、市内には最大二十六本の堀がありましたが、歴史遺産としての旧新潟税関庁舎など見るべき所が数多くあります。

私は一九八七年からNPO法人新潟水辺の会の会員として新潟市内や県内の様々な水辺を見て来ました。そこで感じたのは、まだ知られていない(気がつかない)魅力が数多くあるということです。関東から来た方は、中心市街地にあるホテルから数分、海水浴出来る海岸に行ける事や、町を流れる信濃川や阿賀野川の豊かな水量に驚きます。実は、萬代橋すぐ上流の直壁護岸では「ナゴヤサナエ」というトンボの幼虫(ヤゴ)が育っています。また、今の時期(十月末)は数多くのサケが遡上しています。都市にある河川がこのように自然度の高い川はあまり聞いた事がありません。観光面から見ても、数多くの魅力が有

NO. 15号  
《編集発行》  
新潟シティガイド  
《発行人》  
八木 洋

- ・聞いたことは忘れる
- ・見たことは思い出す
- ・体験したことは理解する
- ・発見したことは身につく



万代島ビルと花絵

ように信濃川左岸の緑地がデートコースになったら良いなとも思っています。早く「水都新潟」が誇れるよう、新潟シティガイドの皆さんと一緒に考え、行動してゆきたいと思えます。

ガイド日誌

船を捜しに



阿部 芳郎

五月十九日、今日はローサの当番日。席に座ったら早速二人づれの女性がこちらにやって来た。



編集後記

この度、機関紙の編集を担当する事になりました。

十五号の編集を担当し、初めてその重要性と編集の難易性を痛感している昨今です。この度は、トップ記事として、新潟市市民活動支援センター運営協議会、会長 森本 利さまから、ご投稿を頂きました。誠に有難うございました。

これまでのトップ記事を拝見しますと、我々の活動に對しまして、貴重なご意見や期待が記載されており、身の引き締まる思いがします。

また、会員の皆様からも鋭意投稿を頂いており、「機関紙」は大勢の皆様を支えられていて、痛感致した次第です。

機関紙は会員相互の情報交換の場として、また、外向けには、当会の活動状況をアピールする有効な手段だと思っています。

この度の編集に当たりましては、前任の「ケイボウ」さんから全面的にアドバイスを頂き発行することも出来ました。

今後におきましても、会員皆様からのご協力により更なる充実を目指して参りますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。



勝見 進

● 広報からお願い!! ●

・投稿をお願いします。

・ブログへ投稿して下さい。(メール・FAXで広報担当へ)

・心温まるホットな話、楽しかった話、厳しかった話を共有しましょう。



船型の碑

お客様かなと思うまもなくガイドの申込み。花街・西大畑を回るコースで十時出発と返答。ところがお客様は行きたい所があり、親と行った船を見たいとのこと。「どんな船ですか?」下町の方にあつた。この道をずつと行くとお客さまの言われた。その船は金属で出来た。「その船をいつ頃見られたのですか?」小学生の頃、現在七十歳。連れの女性が補つて六十年前だ。「私は見当が付きません。下町でしたら日和山の展望台辺りですか?」海岸ではない。「それでは日和山の住吉神社というのがありますか?」それが分らない。ガイドさんなら詳しいから分かるだろうと思つて来た。さあ困つた。うらまへし。こんなやり取りで十時近くになった。他にお客さんもなさそうだから船を捜しに出かけようか。但し私は下町に詳しくはありませぬ。船が迷子にならないくらいは道順は知っています。それでよかつた。花街・下町巡りといったコースでいかかでしょうか。船の見当が付きませぬのでお客様の出発。太田木甫、平出修の碑を説明。かつて新堀東堀の交わった所にあつた「四つ橋」の説明。お客様は足腰軽やか口も軽い。お客様は一言「快通な街」の返答。天気もよく快通な街を下町地区へ。最近のテレビ番組でお店紹介に登場した佐藤薬子。店に寄る。その話題で盛り上がりお客様はお土産購入。古町をどんどん下つて第一目標の日和山を目指す。あれが日和山と



赤塚 正明

大阪からきたお客様

それは平成二十二年七月十七日の「予約のいらない町歩き」のごときでした。お客様は一組、男女二名の方でした。西堀ローサの受付場所まで待機していた時、受付時間が終了間際に男性がやって来ました。町歩きをしたがレンタサイクルを返してきてまで待つてもらえるかとのお話をしたので、大丈夫です。とよと返事をしていた。その人は若い女性と一緒に見えになりました。

早速受付をすませ、町歩きに出発しました。歩きながら話を伺うと、大阪から夜行寝台特急「日本海」で来られたとのこと、途中の日本海がとてきれいだつたと感動されていました。新潟に着いてから、午前中はレンタサイクルを

